

環境についてみんなで考えてみましょう。

6月5日は環境の日

6月は環境月間です

環境防災課 ☎84-0314

6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国際人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」（平成5年）において「環境の日」と定めています。

平成3年度から6月の1か月間を「環境月間」とし、全国でさまざまな行事が行われています。

この機会に環境について考え、環境にやさしい暮らしを始めてみませんか。

ごみ減量に向けた取り組み

開成町で出た剪定枝や葉・草以外のごみは、他の市町村の処理場などで処理しており、ごみの減量化やリサイクル

底により多額の売却益が発生し、町のごみ処理費用の負担軽減にもつながっています。

●町では生ごみの削減に向けた施策を進めています。

現在の町のごみの区分では、生ごみは「もえるごみ」として出すべきものですが、ごみ減量化をめざし、その方策を検討し、施策を進めています。今すぐできる生ごみの減量対策としては、水切りが重要です。

町では、電気を使わない、4種類の生ごみ処理器の設置推進制度を実施しています。

処理器は、役場でも実物を展示し、実際に生ごみの処理を行っています。悪臭も出にくく、生ごみを処理するのが楽しくなるような処理器です。実際にかかる費用の半額程度の負担で生ごみ処理が始まります。ぜひ、ご家庭で生ごみ処理を始めてみませんか。

詳しくは町ホームページ、または環境防災課までお問い合わせください。

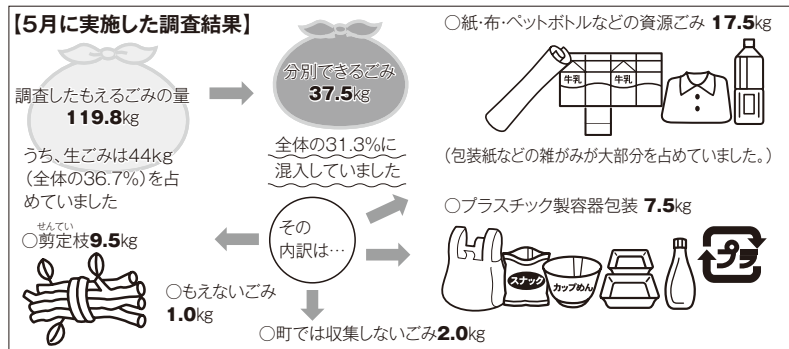
処理器	大きさ 縦×横×高さ(cm)	使い方（概要）	庭	維持費	実際に使用した人の声
バクテリアdeキエーロ (土の上に直接置く底のないタイプです)	60×110×45	処理器の中に入れた土に、20cmくらいの穴をあけて生ごみを入れます。生ごみと土をよく混ぜ、土をかぶせます。分解に夏場は5日、冬場は2週間がかかります。埋める場所を順番に変えて使います。	必要	◎ (ゼロ)	○庭に直接置けるので管理がしやすい。 ○衛生的、虫の発生やにはなかった。外観もよい。 ○肉や魚、揚げ物食用油なども処理しやすかった。
ベランダdeキエーロ (底があり、ベランダ等でも使用できます)	45×90×80		不要	◎ (ゼロ)	○扱いが簡単、後始末が不要。全く手間がかからない。 ○一般の生ごみはほとんど処理ができる。
ダンボールコンポスト	30×30×45	ダンボールの二重箱になっています。土のう袋に入れた土とくん炭の中に生ごみを投入します。米ぬかを入れ、よく混ぜて使用します。	不要	△ 土・くん炭米ぬかを補充する必要があります	○良い堆肥ができた。 ○ダンボール箱なのにしっかりしている。簡単に移動させることができる。 ○悪臭が出ない。
手動式生ごみ処理機 (くるくる)	51×35.5×36	種材（チップ）が入った容器の中に生ごみを入れ、ハンドルを回して中身をかくはんして使用します。数日で生ごみが無くなります。	不要	△ 種材 年数千円	○悪臭が出ない。管理は簡単。 ○コンパクトで置く場所をとらない。

ルの推進が必要不可欠となっています。

●もえるごみの中には、他に分別できるごみが約31％、生ごみが約37％含まれていました。

町ではごみ分別の現状を把握するため、家庭から出されているもえるごみの中に、どの程度、他の区分（資源、不燃等）に分別できるごみが混入しているか、また、生ごみがどれだけ含まれているかを調査する、もえるごみ混入状況調査を実施しています。調査は既に6回実施し、前回は今年の5月に調査を実施しました。

○調査の方法
①当日、もえるごみ収集場所から（30箇所）から1袋ずつ調査するごみ袋を収集
②もえるごみ、生ごみとその



他に分別できるごみの分別作業を実施
③分別後、計量し、年間のもえるごみの総量で、どの程度、もえるごみの減量が可能だったかを算出

※個人情報が含まれるごみは、調査する方にわからないよう町職員が即時廃棄しています。



分別を徹底し、完全に生ごみをたい肥化できたと仮定すると、もえるごみの収集運搬費は、年間約2千103万円減らせる計算になります。

平成24年度の町内全体のもえるごみは、約2千975ト

太陽光発電システムを導入してみませんか！

町では一般住宅において太陽光発電システムを導入する場合の費用を補助しています。

補助を受けることができる方は、補助金の交付を申請した年度内に太陽光発電システムの設置及び電力会社と電灯契約を締結できる方で、次のいずれかに該当する方

①居住する町内の住宅に太陽光発電システムを設置する方
②新築する居住用の住宅に太陽光発電システムを設置する方

③太陽光発電システムを設置した居住用の新築住宅を購入する方

補助額：公称最大出力1kW当たり1万5千円、上限5万2千円

受付件数：50件分（先着順・予算の範囲内において補助します）

募集の期間：平成26年2月14日まで（先着順で受け付けています。50件に達した場合は補助は受けられませんのでこ

でした。今回の調査と同じ割合で他に分別できるごみが混入していた場合、年間で約931ト、生ごみは、年間で約1千092トになります。分別を徹底し、完全に生ごみをたい肥化できたと仮定すると、年間約2千023トのもえるごみを減らすことができます。これをもえるごみの収集運搬費に換算すると、約2千103万円になります。



調査の様子

資源ごみは売却され、町の収入となっています。

平成24年度に、資源ごみとして収集した紙類は、約757ト、その売却益は約231万円でした。また、ペットボトルは約37ト、売却益は約137万円でした。分別の徹

了承ください）
制度の詳細・申し込み方法は、環境防災課までお問い合わせください。

